

ももっていた。ここでいう「英雄」とは個人としての英雄であり、中国人には個人の力に対して一種の信仰とも言える思い入れがあると言うことができよう。劣悪な自然的環境と苛酷な歴史的環境の中で暮らしてきた中国人は、苦しい生活と厳しい政治体制のもとで生存していくために、いろいろと努力はしていくが、結局最後に頼りになるのがやはり自分自身しかないということを現実の社会状況から学ばされてきているのである。

## 註

- 1 藤沢衛彦 1960、pp.208~209。
- 2 藤沢 1960、p.209。
- 3 藤沢 1960、p.209。
- 4 金子武雄 1969、p.1。
- 5 金子 1969、p.2。
- 6 金丸邦三 1983、p.1。
- 7 郭紹虞 1948、p.158、引用は温端政、高橋均、高橋由利子編訳。
- 8 武占坤、馬国凡 1983、p.3。
- 9 唐啓運 1981、p.55。
- 10 唐 1981、p.58。
- 11 温端政 1991、p.13。
- 12 穴田義孝 1982、p.208。
- 13 穴田 1982、p.213。
- 14 呉主恵 1989、p.262。
- 15 呉 1989、p.262。
- 16 呉 1989、p.262。
- 17 呉 1989、p.258。
- 18 呉 1989、p.256。
- 19 呉 1989、p.256。

## 参考文献

- 穴田義孝 1982 『ことわざ社会心理学』 人間の科学社  
 上野恵司 1997 『ことばの文化背景』 白帝社  
 温 端政 1991 『諺語のはなし——中国のことわざ』 高橋均 高橋由利子編訳  
 光生館  
 金丸邦三主編 1983 『日中ことわざ対照集』 燎原書店  
 金子武雄 1969 『日本のことわざ』 社会思想社  
 呉 主恵 1989 『漢民族の研究——中国人のルーツ——』 マルジュ社  
 藤沢衛彦 1960 『図説日本民俗学全集3 ことば、ことわざ編』 あかね書房

- 李 国棟 1996 『日中文化の源流——文学と神話からの分析』 白帝社  
 郭 紹虞 1948 『諺語研究』 開明書店  
 武 占坤 馬 国凡 1983 『諺語』 内蒙古人民出版社  
 陳 克編著 1993 『中国語言民俗』 天津人民出版社  
 唐 啓運 1981 『成語諺語歇後語典故概説』 広東人民出版社